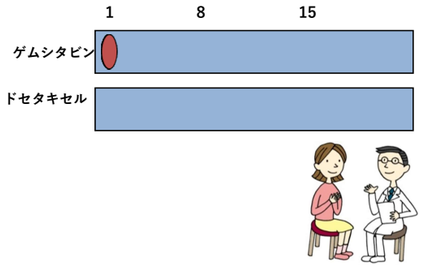
ゲムシタビン＋ドセタキセル 療法　（１泊２日）　を受ける患者様へ　　【患者様用クリニカルパス】

ＩＤ：　　患者氏名：　　様

日付	月　　日（　）		月　　日（　）
経過	入院当日（治療開始前）	入院当日（治療開始後 ～ 治療終了後）	退院日
	入院時	治療中～治療終了後	退院時
達成目標	・治療の内容、経過がわかる	・予定どおりに治療が終了する。 ・副作用出現時は適切に対処が受けられる。	・副作用への対処法を理解し実行できる。 ・退院指導の内容が分かる。
検査	血液検査、心電図、胸部エックス線撮影		
治療・処置	身長、体重を測定します。 	抗がん剤の投与スケジュールに関しましては、病棟薬剤師より説明があります。 ☆抗がん剤は、入院日（１日目）に「ゲムシタビン」が投与されます。抗がん剤投与終了後に抜針します。 **【投与から１～２日後】** ・投与時過敏症状　→　薬剤投与中あるいは投与数時間後にかゆみ、息苦しさ、発熱、汗が出るなどの症状が出た場合は、すぐに教えて下さい ・便秘　→　下剤の内服、グリセリン浣腸 ・吐き気・嘔吐・食欲不振などの消化器症状　→　吐き気止めの内服または注射 **【投与から数日間経過してから】** ・口内炎　→　うがいや抗炎症薬の軟膏を塗布 **【投与から１週間経過してから】** ・貧血　→　輸血（頻度は稀です） ・血小板減少　→　血小板輸血（頻度は稀です） ・白血球・好中球の減少　→　ハイリスクの場合、G-CSF製剤（白血球を増やす薬）を注射することがあります ・脱毛　→　ウィッグやバンダナ、帽子などを使用 ・浮腫　→　弾性ストッキング装着、利尿剤の内服 	
説明・指導	・入院生活について説明します。 ・予測される副作用および予防法・出現時の対処方法について病棟薬剤師より説明があります。	点滴中、針の入っているところが痛くなったり、腫れたり、重苦しくなったら、　　すぐに教えて下さい。こまめに水分補給をしてください。	退院指導を行います （生活指導や次回外来再診日の連絡）
内服・点滴	現在飲んでいる内服薬の確認をします。 **内服薬は基本的に継続とします。**	 	症状に応じて内服薬が処方されることがあります。 （吐き気止めや下剤など）
食事	基礎疾患（糖尿病など）に応じて、治療食が出ます。	食事の制限は特にありません。たくさん水分を取るように心掛けて下さい。吐き気のために食べられないときには、食事の変更ができますので相談ください。症状にあわせて食事内容を変更することができます。 	
生活・行動	特に行動制限はありません。		・白血球が減少すると感染に対する抵抗力が弱くなるため、人混みは避け、うがい、手洗いをしっかりと行い感染予防を行ってください。
清潔	抜針後にシャワー浴ができます。		
その他	熱が出た場合や血液検査などの検査結果に異常がある場合は、 化学療法を延期することがあります。	他に気になる症状がありましたら、申し出てください。	**退院基準　１．有害事象に対処できている** **２．バイタルに異常がない**

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
整形外科